

松阪市議会議長 坂口秀夫 様

視察報告書

下記の内容で視察いたしましたので、報告いたします。

日時:	令和 6 年 5 月 10 日(金曜日) 11:00 ~ 16:00
会場:	東京ビッグサイト
テーマ:	Edix(教育総合展)
参加者:	蒼水会 深田龍
目的:	子どもたちの ICT 教育において、全国でも先駆的な位置づけにいたと思っていた松阪市だが、ここ数年で力を入れて独自の取り組みを行う自治体が出てくるようになり、さらに前へと進む自治体がいることを聞き及ぶようになった。「NEXT GIGA」という言葉がなにを意味するのかを今回の機会を通して、理解をすると共に、民間企業がそのために、どんなサービスを行うようになってきているのか多角的な情報を収集するために参加した。
視察内容 と所感:	「NEXT GIGA」を考えるためには、まずこれまでの取り組みを振り返る必要がある。新しい学習指導要領をかみ砕くと、先生が一方的に話し、そこから学びを得るという指導方法から、子どもたちが主体的に学び、自分たちの言葉で学びを表現することを目指す方向性変わった。その過程に、友達同士で学ぶことが重要視されており、それら行うためのツールとしてタブレットが使用されている。そのことを松阪市がどれだけでできているのかを客観的に把握し、できていないポイントに対し、策を練ることが「NEXT GIGA」への入り口となりそうだ。 展示会には多くのブースがいた中で、特に目をひいたのが、「生成 AI」の活用だった。市役所業務でも活用が始まっている「Chat-GPT」などが教育でも活用されるものが数多く紹介されていた。また、GIGA スクール構想が始まってからタブレット端末の整備と共にアプリなども数多く開発されてきているが、そのアプリの進化版の展示発表も見聞きすることができた。コストに関する説明はなかったが、日ごろ扱うスマートフォンのように、教育現場においてもハードとソフトの進化にさらなるコスト増の影が見え隠れした。
現場風景:	 

以上